

令和7年度学校生活アンケートの結果から・・・

学校生活アンケート(高池小学校)			
項目	上段:児童／下段:保護者	R6年度 2学期	R7年度 2学期
1 楽しい学校 生活	学校での生活は楽しいですか。	94%	96%
	子どもは楽しんで学校に通っている。	91%	85%
2 わかりやす い授業	学校の勉強はわかりやすいですか。	100%	91%
	学校はわかりやすい授業を行っている。	94%	91%
3 主体的な 授業	授業中、意見を発表するようにしていますか。	80%	74%
	学校は子ども達が中心となる「主体的な授業」を行っている。	77%	85%
4 対話的な 授業	授業中、友達と教え合ったり話し合ったりしていますか。	87%	72%
	学校は友達同士で教え合ったり話し合ったりする「対話的な授業」を行っている。	74%	85%
5 読書習慣	本を読むのは好きですか。	63%	70%
	子どもは本を読むことが好き。	31%	39%
6 運動習慣	運動をすることは、好きですか。 (外で元気に遊んでいますか。)	93%	96%
	子どもは運動することが好き。	78%	88%
7 家庭学習	宿題を忘れずにできていますか。	76%	76%
	子どもは家庭学習をする習慣がついている。	44%	35%
8 規範意識	学校のきまりを守っていますか。	87%	83%
	子どもは学校のきまりを守れている。	81%	82%
9 挨拶・返事	あいさつや返事ができていますか。	93%	87%
	子どもは挨拶や返事をする習慣がついている。	84%	79%
10 学校の 話題	お家の人に学校や友達のことをよく話しますか。	70%	74%
	子どもは学校や友達のことをよく話している。	81%	85%
11 友人関係	友達と仲良くできていますか。	91%	91%
	子どもは友達と仲良くできている。	88%	91%
12 悩み・気 になること	困っていることや悩んでいることはありますか。	記述回答	
	学校生活について、何か気になることはありますか。	記述回答	

「あてはまる」「だいたいあてはまる」とした肯定的な回答を割合で示し、昨年度の結果も併記しました。同じ項目の上段が児童、下段が保護者の回答となります。質問の仕方に若干の違いがあるので、単純に比較できない項目もあります。

項目別に見てみますと、まず、1「**学校生活**」については、保護者と児童で差があります。学校生活が見えない分、不安になる親御さんもきっとおられるのだと思います。児童の回答が100%でないこともあわせて、今後も気をつけて見ていきたいです。2～4は「**授業**」についてです。「主体的・対話的で深い学び」を目指して日々の授業に取り組んでいるところが、3「**主体的な授業**」や4「**対話的な授業**」で児童の回答が8割に満たないのは課題です。2「**わかりやすい授業**」が9割

を上回っているものの、どのように学ぶかは「深い学び」に関わる大事な要素なので、より一層授業づくりで大事にしていきたいです。5「**読書習慣**」については、児童の肯定回答がここ3年間で初めて7割に届きました。その上、意外にも保護者が思っている以上に子どもは読書好きという結果が出ています。ここ数年、重点目標として取り組んできて、ようやく児童に変化が現れてきたのなら、嬉しい限りです。今回の結果が一過性のものとならないよう、引き続きゲームやスマホにはない「本の魅力」を伝えていきたいと思います。ご家庭でもご協力をお願いします。6「**運動習慣**」については、あたごタイムや休み時間の活気と歓声がこのまま途絶えることがないように、働きかけを続けていきます。7「**家庭学習**」については、児童と保護者の差が最も大きく表れています。質問の仕方も影響していると思われますが、いずれにしても毎日机の前に座る習慣は小学校のうちに付けておきたいものです。次の8「**規範意識**」・9「**挨拶・返事**」も併せて、気になる時は繰り返し声かけや働きかけをお願いします。10「**学校の話**」については、毎回保護者の回答の方が高く、「あれは話してないな」「・・・話せなかったな」といった子どもの正直な思いが数字に表れているのかもしれませんが、ただ、11「**友人関係**」についても言えることですが、いつも100%が理想とはい言切れない面もあり、高学年では、親には言えない悩みや友人関係があるのはむしろ当たり前です。肝心なのは、失敗したりうまくいかなかったりした時、その時の自分としっかり向き合えること。どうすればよかったのか、何がまずかったのか、次からはどうするのか等々を自分なりにとことん考えること。これを何度も繰り返す中で少しずつ社会性といったものも身につけてくるのではないのでしょうか。もちろん子どもに任せておけば良いということではなく、周囲の大人の「適切なかわり」が不可欠だと思います。問いただしたり相談に乗ったりすることが求められることもあれば、時には黙って見守ることが必要な場合もあるでしょう。私たち大人に求められるのは、この「適切なかわり」をその場その場で見極めながら、粘り強く繰り返していくことなのかもしれません。ただ、何が正解かは誰にも分からないだけに、連携を大事にしていきたいです。

12「**悩み・気になること**」の記述では、①「一人ひとりに向き合って指導してくれている」というありがたい声から、②給食試食会の復活、③給食着の個人持ち、④クロムブックの持ち帰り、⑤学力についてなど様々な意見がありました。ここで全てを取り上げられる訳ではありませんが、来年度、②については1年生を対象に実施予定です。③については希望される場合は個人購入可とします。④については再度検討します。⑤については、学力のどの部分に力を入れているかというご質問だったので、今更ですがHPに掲載しているスクールプランをおもて面に再掲しておきます。(アナウンス不足を反省する次第です。)

 2025年も色々とお世話になりました。皆様よいお年を!